



1月31日(水) 椋山女学園大学の中嶋文字先生に「自分と大切なひとを守るために知っておいてほしいこと」というテーマで性に関するお話をしていただきました。皆さんは今の時期、体だけでなく、心も子どもから大人に近付いていき、自立しようという気持ちが芽生えたり、異性への関心が高まったりします。大切に育てられてきた立場から、新しい命を生み出すことができる立場に変化していく、今だからこそ聞いてほしい内容ばかりでした。今回の授業が、命のこと、周りの人との関わり、自分の生き方について考えるきっかけになってくれればと思います。

<デートDVって?～保健委員によるロールプレイング～>

デートDVには…

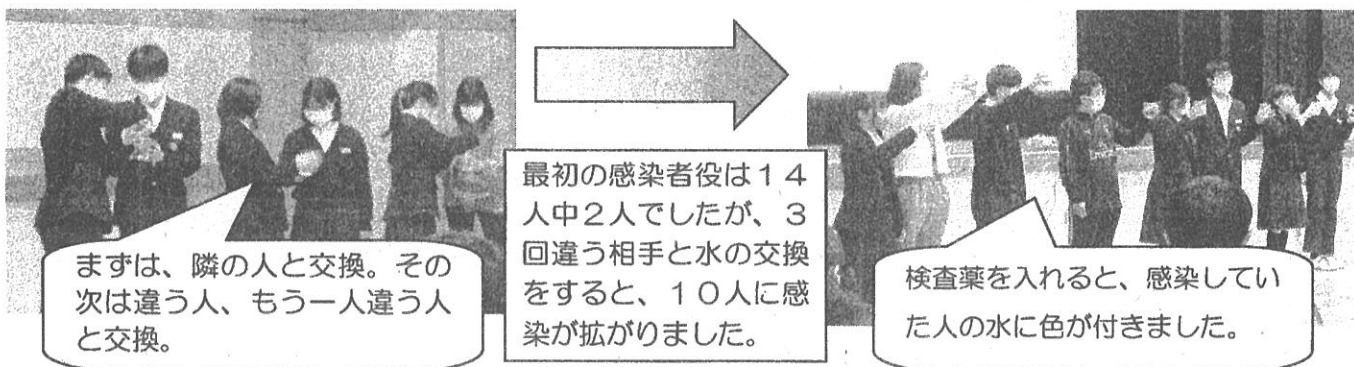
- ・身体的暴力
- ・束縛の暴力
- ・精神的暴力
- ・性的暴力
- ・金銭的暴力



デートDVには、殴る蹴るといった「身体的暴力」だけでなく、相手の自由を奪う「束縛の暴力」や、金銭的に対等でない「金銭的暴力」といったものもあります。

自分の気持ちや大切にしていることを尊重してくれない相手は、自分を大切にしてくれているとは言えません。お付き合いをする際は、お互いが対等な関係であることが大切です。しかし、**対等な関係は自然にできるものではなく、つくっていくものです。自分と相手の気持ちや価値観を、互いに尊重し合うことを心掛けましょう。**また、デートDVの加害者も被害者も、本人たちは気が付かないことがあります。周りの友達の付き合い方がおかしいなと感じたら、声を掛けてあげてください。

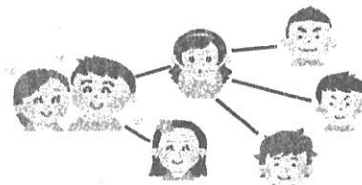
<性感染症の広がりを表す水の交換実験>



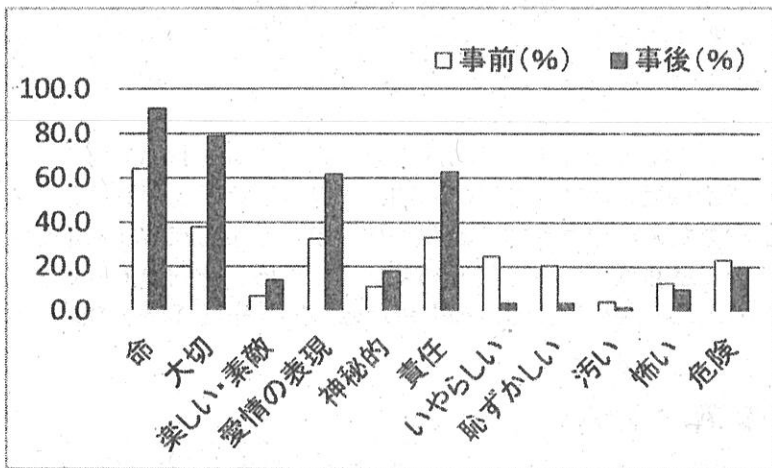
性感染症は、「症状がない」ことが多く、感染していることに気付きにくいのが特徴です。実験でも、試薬を使って色を付けたことで初めて感染していることが分かりました。同じように、**性感染症に感染しているかどうかを確実に知るには、検査するしかありません。**

また、症状がなくても不妊の原因になってしまう病気や、完全に治すことが難しい病気も中にはあります。交際は二人だけの問題ではなく、**その背景にはたくさんの他人が繋がっていることを忘れないでいてほしい**と思います。

性感染症は予防することができます。自分や相手の健康を守るための正しい知識をもった上で、相手との豊かな関係を築けるといいですね。



<「性」に対するイメージの変化>

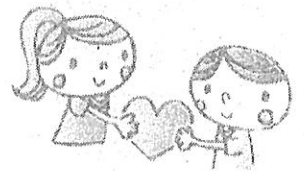


授業の前と後に「性」に対してどんなイメージをもつかをアンケートで聞きました。

授業を受ける前には、「命」「大切」といったポジティブなイメージをもっている人が多かった一方、「いやらしい」「恥ずかしい」といったネガティブなイメージをもっている人もいました。授業後には、「いやらしい」「恥ずかしい」といったイメージをもっている人が減り、「命」「大切」「愛情の表現」「責任」と答えた人が大幅に増えました。性感染症や望まない妊娠などのリスクや責任について理解した上で、行動選択をしていくことが大切です。

★みんなの感想★

- 性とはどうゆうものなのかを知ることが出来た。自分がすごい確率で生まれたことは知らなかったのですごく驚きました。
- 性的同意を紅茶に例えた話や、LGBTQ について好きな食べ物に例えた話が身近で分かりやすくできていいなと思った。
- 「命の始まり」のお話がとても印象に残りました。母が頑張ってくれたということはもちろん、私自身もおなかの中で大変なこと、苦しいことを乗り越えて生まれてきたということを知り、これまで以上に命を大切にしたいと思いました。
- 自分という存在は、親が命がけで産んでくれたかけがえのないものだから、改めて親に感謝し、これからの人生を大切に生きていきたいと思った。
- 物事の価値観は人それぞれであり、必ずしも全員が全く同じわけでは無い為、お互いに気になったことは話し合うこと。自分の考えだけで勝手に相手の気持ちを判断、理解したつもりにならないこと。
- もしも自分が付き合ったり、セックスをしたりすることがあったら、十分な知識や心構えをもって、無責任な行動をしない。
- 自分だけではなく、みんなが悩んでいることもあると分かって少し安心した。今日の授業を通して、別にダメなことではないことを感じた。
- 中嶋先生のお話を聞いて、自分が今後どのように生きていくのか、どのように過ごしていくのか、それをものすごく考えるきっかけになったと思う。
- それぞれの人のプライバシーが守られなければいけないことが分かったから、むやみに性についておもしろおかしく話したり、聞き出ししたりしないようにしたいと思います。
- 恋は自分が主役、愛は相手が主役という考え方がすごく素敵だと思いました。そういった考え方を大切にして生きていきたいです。
- 初めて聞くことばかりだったけれど、今のうちに知っておくべきことで、知識がないと判断できないし、正しく恐れることが大切なことなので、理解を深められた良い時間でした。
- 子宮頸がんワクチンを打とうか悩んでいましたが自分を守るためにも打ってみようと思いました。



～おわりに～

皆さんは、中学校を卒業した後の進路に向けて、お家の人や先生と相談しながらも、最終的には自分で考え、選択してきたと思います。そして、中学校を卒業したら、より一層自分自身で考え、選択をしていく場面が増えていきます。「性」について考えることは、自分の「生き方」について考えることです。自分や相手の気持ち、体のこと、将来のことなどをしっかりと考えた上で、自分はどうしたいのか、どうすべきなのかを選択してほしいと思います。皆さんの人生が、健康で豊かなものになるよう願っています。